

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市男女共同参画推進協会		令和元年度経営計画 兼 経営努力結果	
<b>基本事項</b>			
所管局課	文化市民局共生社会推進室 男女共同参画推進担当	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	50,000 千円	本市出えん率	100.0 %
<b>「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」</b>			
方向性	自律化	目標年度	令和2年度
<b>「今後の方向性」に向けた基本的方針</b>			
業務面	「第4次京都市男女共同参画計画」の重点分野である「DV対策の強化」や「真のワーク・ライフ・バランスの推進」などの講座・啓発活動を着実に実施していく。とりわけ、男女共同参画に興味を持つ学生や企業・学校・団体等と連携し実施することにより、京都市全体における男女共同参画の推進の加速化を図る。		
財務面	京都市以外の自治体や大学、企業からの受託事業の増加等により、特定の収益に極端に依存しないバランスのとれた協会運営を目指す。		
組織面	当協会の3つの基本姿勢である「支援」、「育成」、「提言」の下、より一層、簡素で効率的な組織体制を確立するために、柔軟な人員配置を実施し、組織風土の改善や活性化を目指す。		
その他			
<b>当年度の取組目標に対する意見</b>			
所管局	より効率的、効果的な事業運営を期待するとともに、令和2年4月の自律化に向けて、組織体制及び財政基盤の強化に努めてもらいたい。		
<b>当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)</b>			
団体	令和元年度は、第4期指定管理期間の初年度として、また新たに導入された利用料金制が始まるとともに、協会の継続的・安定的な運営を目指して、前年度から取組を進めてきた、組織・給与制度改革のスタートの年となった。財政面では、年度末に発生した未曾有のコロナ禍の影響を受け、赤字決算となった。 事業実施においては、令和元年度の事業目標であった「男性の意識改革」に注力し、さまざまな取組を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの催しの実施を断念せざるを得ない状況となった。そのような状況の中でも1月に実施できた「輝く女性応援京都会議」主催の女性活躍推進事業では、中小企業に焦点をあてた分科会を実施することができ、新たな地域との繋がりを生むことができた。		
所管局	令和元年度においては、新型コロナウイルスの影響により赤字決算となったものの、経費の節減に努めたことは評価できる。 事業実施においても、京都市男女共同参画センター開館25周年記念事業として、男女共同参画の重要性を学ぶことを目的とした、WIT (WORK AND WOMEN IN INNOVATION SUMMIT) 分科会や写真展「切断ヴィーナス」を実施できたことは評価できる。 今後も、企業や団体等からの事業受託を増加させる等により、安定的な経営を継続することが望まれる。		

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市男女共同参画推進協会		令和元年度経営計画 兼 経営努力結果	
<b>本市のえん率引下げに向けた実施計画</b>			
中期経営計画における取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	3月 定時理事会において引下方法決定	12月 臨時理事会において決議	4月 引下げの実行
当年度目標	6月の定時評議員会で引下げを決議する。 ※引下方法及びスケジュールを再検討し、当初の取組内容を変更		
当年度結果(※)	令和元年6月18日の定時評議員会で引下げが決議され、令和2年4月1日に、引下げが実行された。		

## (1)業務に関する取組

目標1「関係団体等との連携・協働による新たな共催事業の実施」	
取組内容	男女共同参画の視点を持った関係団体等を新たに掘り起こし、団体との連携・協働の下、共催事業を企画、実施することにより、地域の男女共同参画推進の加速化を図る。
当年度目標	教育や防災等、身近なテーマに取り組んでいる団体と連携・協働し、男女共同参画の視点を取り入れた事業等を実施し、地域の男女共同参画推進の裾野を広げていく。
当年度結果(※)	SDGsの目標のひとつである「ジェンダー平等」をテーマに、ダイバーシティに関するフォーラムを企画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

指標	新たな共催事業の実施 (単位：回)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	—	—	1	6	2	0	—	—

目標2「若年層との協働事業の実施」	
中期経営計画における取組	若年層に焦点を合わせた事業の展開により、男女共同参画の加速化を目指す。若年層を対象としたデートDVや性暴力をテーマに講座を実施するほか、男女共同参画に興味のある学生を企画に参画させて啓発や講座を実施することで、男女共同参画の視点を持った人材を育成するとともに、これまで届けられなかった若年層への啓発を強化する。
当年度目標	これまでに構築した大学生とのネットワークを更に広げ、男女共同参画に興味のある大学生の発掘を行い、新しい事業を創造していく。
当年度結果(※)	大学法学部の学生を対象にした性暴力サバイバー（被害を乗り越えた人）の講演会、京都6女子大学と地域の企業との連携によるロールモデルセミナーを実施した。

指標	啓発誌の発行及び講座の実施 (単位：回)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	1	0	1	2	2	2	—	—

## (令和元年度単年度経営計画)

(公財)京都市男女共同参画推進協会	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	-----------------------

## (2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績	
経常収益	215,870	220,484	215,490	209,758			
経常費用	215,570	212,745	215,452	210,050			
当期経常増減額	300	7,739	38	△ 291			
当期正味財産増減額	300	4,783	38	△ 1,901			
資産合計	-	261,018	-	259,450			
負債合計	-	111,062	-	111,396			
正味財産	-	149,955	-	148,054			
うち累積損益額	-	99,955	-	98,054			

## 目標「特色を生かした受託事業等の充実による収益増加」

中期経営計画における取組	自律化に向け、今まで以上に自主的・自立的な経営を目指し、当協会の特色を生かした収益事業の実施・拡大、寄附金の獲得などによる自主財源の確保に取り組む。
当年度目標	職員を採用し、組織としての体制の強化を図るとともに、安定した運営基盤の確立に向けて、収益の確保を図る。 自主事業の拡充、指定管理業務以外の受託事業を増やし、受託事業・自主事業・助成金・寄附金等の収入38,500千円を目標とする。
当年度結果(※)	新型コロナウイルスの影響による3月の自主事業の中止等により、自主事業収益が約200万円減収となった。

指標	京都市指定管理料以外の受託事業・自主事業・助成金・寄附金等の収入金額								(単位:千円)
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		—		38,000		38,500		39,000	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績	
	37,500	37,379	38,000	37,268	38,500	35,909	—		

## (3)組織に関する取組

## 目標「組織体制の強化」

中期経営計画における取組	さらなる経営改善を推し進めるため、理事会を中心とした執行体制の強化に向けて、業務運営の中核となる業務執行理事を増員し、業務執行理事会の開催回数を増加するなど管理運営機能の一層の充実を図る。
当年度目標	理事会、評議員会の体制強化を図り、業務執行理事を中心として管理運営機能の充実を図る。
当年度結果(※)	理事、評議員の改選 業務執行理事会の実施(5/23, 3/12)

指標	業務執行理事会の開催回数								(単位:回)
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		2		3		4		4	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績	
	2	2	3	2	4	2	—		